

2025 年 期 第 6 回課題研究テーマ（東京）

46 班～52 班

テーマ	<p>期末監査において、担当する製造業クライアントに関して以下の状況が判明した。 経営者は今後の対応策により改善可能と主張している。この状況を前提に、以下の①から③について論術しなさい。</p> <ul style="list-style-type: none">・財務状況：当期大幅損失、営業 CF マイナス、財務制限条項に抵触・業務状況：主要得意先の倒産、代表取締役の高齢化と後継者不在 <p>① 上記の情報から、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせる事象または状況を識別し、そう判断する理由を論述しなさい。</p> <p>② 経営者が提示した対応計画（例：新規顧客開拓、金融機関との交渉）の合理性を評価するため、あなたが実施すべき追加の監査手続を具体的に論述しなさい。</p> <p>③ 経営者の計画を裏付ける十分な証拠が入手できず、「重要な不確実性」が存在すると判断したが、経営者から「GC 注記をすれば倒産してしまう」と強く翻意を迫られた。この圧力に対し、倫理規則及び関係法令に基づき、どのように対応すべきか論述しなさい。また、監査人として下すべき最終的な判断と、監査報告書への反映について論述しなさい。</p>
-----	--